

祝 軟式野球部2度目の全国制覇

同窓会員の皆様には
益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。今年の夏は記録的猛暑でしたが、とりわけ熱く燃えたのが母校の軟式野球部の全国優勝でした。

皆様には選手及び応援団が心おきなく活躍できるように募金に依っていたいただき、その温かいご協力に感謝申し上げます。おかげ様で28年ぶり二度目の輝かしい金字塔を打ち立てることができました。松陵健児の名を全国にと



同窓会員の皆様へ

同窓会長 田中 仁 純
(二十五期)

松陵

秋田県立能代高等学校
同窓会事務局
〒016-0184 能代市高城2-1
能代高校内
TEL 0185-54-2230
FAX 0185-54-2231
題字は前会長神馬恒成氏
印刷所 (株)能代印刷所

総会が開催され、会計決算、予算等に続き承認されました。また、役員改選の件は、野球、記念事業の残務について現役員が遂行すべきとする選考委員の意見により留任と決まりました。役員一同責任の重さを痛感し、心して事に当たるつもりですので、引き続きよろ

同窓会の皆様には、平素より格別なるご配慮をいただき、心よりお礼申し上げます。とりわけ、軟式野球部の全国大会出場にあたりましては、各方面から多大なご芳志とご声援をいただき、選手をはじめ応援団をベスタの状態に派遣することができました。今回の28年ぶり二度目の全国制覇は、選手の頑張りはもちろんですが、選手を励まし続けてくれた応援団の存在、そしてそれを可能にした多くの方々の熱き思いの賜物であり、重ねてお礼申し上げます。

また今年は、本校が大正14年に旧制能代中学として開学してから85年目にあたります。学校としての記念行事は計画していませんでしたが、同窓会の皆様のご配慮により、校舎案内看板の修理や理数科設置記念「ニュートンの木」の植え替え、学校の歴史資料や寄贈物管理用キヤビネットの整備など、学校予算の中で手をつけにくかった事業に取り掛かっていただきました。ご高配に感謝するとともに、歴史を刻んだ資料や文物を保存し、伝え続けることの難しさと大切さを痛感しています。

大変喜ばしい報告です。皆様から納入願っている年会費の納入状況が良く、前年と比べて大幅な増収となりました。同窓会を支えている貴重な財源であるという理解が生んだ結果と喜んでいきます。今後とも、末永いご支援をお願いします。



校長
山本 達行
(三十九期)

熱き思いに
感謝します

平成23年 能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

◎日時 平成23年1月22日(土)
講演会 午後5時30分
講師 西方里見氏(40期 建築家)
(㈲西方設計代表取締役)
演題 住宅と木造建築
[EUの最先端と木都能代の底力]

◎会場 能代キャッスルホテル平安閣(能代市元町)
電話(0185)55-1111
◎会費 4,000円(当日持参)

※当番幹事は40期・50期です。参加申し込みは各期幹事または同窓会事務局へ連絡してください。
同窓会事務局 電話(0185)54-2230
(能代高校内) FAX(0185)54-2231

恩師探訪



能代高校で教鞭をとられた先生方に当時の思い出を綴っていただく「恩師探訪」のコーナー。今回は、昭和39年度から52年度、昭和55年度から62年度、平成2年度と、3度にわたって勤務した続 隆先生に筆を執っていただきました。

母校奉職に感謝して

続 隆先生
(二十一期)

昭和39年4月、縁があつて横手高校、本荘高校の勤務を経て母校に奉職した。卒業以来13年ぶりのなつかしい樽子山であつた。当時は教員異動の少ない時代であり、まだ多くの恩師が在職していて恩恵を受けた。

部活動は新聞部、硬式野球部、水泳同好会、弁論部の顧問を勤めた。一番長いのは昭和40年4月より昭和59年3月まで（途中、中断の期間もあつた）の硬式野球部で、主に副部長職であつた。山田久志・大沢勉両氏の精密で絶妙なバツテリ、そして高松直志氏の快速球を初めて目にした時の驚き、数多くのすばらしい部員一人一人の思い出はつきないものがある。

学級担任は第二学年から第三学年ということが多く、また第二学年部付の年もあり、修学旅行は学年部主任、

教頭という年もあつて割合と多く行かせてもらった。教え子の子供の結婚式にも招かれた。同級会は昭和42年3月卒業の三年D組が、サンデー会と称して今でも続いている。

校務分掌は同窓会とPTAが主であつた。歴代校長、同窓会長、PTA会長と共に札幌、東京、徳島など多くの総会・大会に出かけた。



昭和43年度 英語科教師 左から
清水新昌・五十嵐研一・伊藤鉄美・佐藤実・
続 隆・金田文昭・阿部統一の先生方

同窓会各支部への出席、地区PTA開催の準備、そして十里強歩の専門設営のお願いのために保健体育科の先生とコースの所要場所の保護者たちとの相談会にも数多く出かけた。

卒業アルバムは第二次世界大戦中に中断していたが昭和41年度教職員・生徒の協力を得て復活させた。

歴代校長に二人の英語の校長があり、その下で英語研究会事務局担当者としての思い出も多い。全県の沢山の英語教師と知り合った。筑波（英語）研修にも行ってきた。

樽子山から高城への校舎移転は歴史的大事業であつた。創立記念事業は40周年、50周年、60周年は学校教職員として、70周年、80周年記念事業は同窓会役員として関係した。

能代高校から他の高校への転任のために、三回の離任式を経験したが、ある年の三回目の離任式の挨拶で「私は生徒時代を含んで、人生の半分を能代高校に世話になり、」と言った途端、急に目頭が熱くなり、絶句してしまった。「ふるさとの母校は、まことにありがたきかな」という思いで人生を過ごしております。

同窓生から

能中14期会から寄贈

7月14日富波良一（14期）さんが校長室を訪問。これまで同期会で積み立てていた会費の残金8万円余を同窓会に寄贈。理由は、「会員も少なくなり、飲む機会もなくなったので同窓会で役立ててほしい」ということでした。

富波さんは昭和40年から47年まで本校に勤務しており、山本校長先生はその当時の生徒だったので思い出話をしていた。



富波さんと山本校長

第21期生 第十回同期会 報告

卒業60年目記念同期会を6月4日にプラザ都にて開催、参加者は34人（直前に欠席変更者2名）。参加者が最も多かったのは第二回（昭和56年・

金男）の90人、48歳位にて元気旺盛な時だった。今回で第十回を数える。実行委員会は30名を越えればという思いで努力したので大成功だった。

第21期生は昭和20年4月、終戦の年に旧制能代中学校に入学、校舎は現在の能代市庁舎の場所にあつた旧淳城第一小学校の仮校舎であつた（樽子山の校舎は昭和19年2月焼失）。昭和23年3月に再建なつた樽子山の新校舎に移転終了。昭和26年3月に能代南高等学校新制第3期生として卒業した。

戦争中の軍国主義教育、そして終戦時の混乱、戦後の民主主義教育とまさに波瀾万丈の時代であつた。在学六年間の旧制中学校、併設中学校、新制高等学校を経験したので、同期生の絆は強いものがあり、いろいろな思い出と共に第21期生は深く結ばれている。

第十回にして初めて同期会に参加した人もおり、曾孫の話をする人もおり、同期会に参加する喜びにひたつた。首都圏からの参加者たちは特に活気があり、今回も元気をもらつた。毎回これが最後の同期会と言いながら、次回は二

同窓会会計報告

平成21年度分(平成21年9月1日より平成22年8月31日まで)

I. 経常費

収入の部

項目	21年度予算額	21年度決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	467,860	467,860	0	前年度より繰り越し
2 人会金	1,648,800	1,634,400	△ 14,400	7,200円×227名
3 会費	2,000,000	3,042,000	1,042,000	
4 寄付金	0	83,845	83,845	旧制14期より
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
6 その他	340	333	△ 7	雑収入・利息等
合計	5,117,000	6,228,438	1,111,438	

支出の部

項目	21年度予算額	21年度決算額	比較増減	摘要
1 会議費	280,000	350,735	70,735	総会・新年会補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	20,000	3,415	△ 16,585	弔電代
3 卒業関係費	380,000	366,060	△ 13,940	人会記念品(人会金を基金へ1,200円×227名)
4 通信印刷費	2,200,000	1,890,858	△ 309,142	松陵発信、案内はがき、新聞広告
5 事務費	40,000	55,767	15,767	ファイル代、事務局経手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	100,000	84,415	△ 15,585	HP利用料等
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	
9 予備費	97,000	0	△ 97,000	
合計	5,117,000	4,751,250	△ 365,750	

《差引残高》 収入 支出 差引残高
 6,228,438 - 4,751,250 = 1,477,188

II. 基金

種類	平成22年度分	平成21年度分	摘要
1 秋田銀行積立	30,798,446	30,477,282	人会金272,400円(1,200円×227名)を含む
2 秋田銀行定期	890,903	889,784	
3 秋田銀行定期	1,005,431	1,004,225	
4 秋田銀行普通	2,000,509	1,000,313	貸付金平成21年22年返済分2,000,000円(利息509円)
合計	34,695,289	33,371,604	

III. 貸付金

6年間で返済される予定

- 平成20年4月7日 5,880,000円 をエアコン設置代として貸し付ける
- 平成21年1月19日 1,000,000円 を返済される(利息計313円)→II.基金4
- 平成22年1月20日 1,000,000円 を返済される(利息計509円)→II.基金4
- 平成22年8月31日現在の貸付残高 3,880,000円

同窓会経常費予算

平成22年度分

(1) 収入

項目	22年度予算額	21年度予算額	比較増減	摘要
1 繰越金	1,477,188	467,860	1,009,328	
2 人会金	1,670,400	1,648,800	21,600	7,200円×232名
3 会費	2,000,000	2,000,000	0	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)から繰り入れ
6 その他	212	340	△ 128	預金利息など
合計	6,147,800	5,117,000	1,030,800	

(2) 支出

項目	22年度予算額	21年度予算額	比較増減	摘要
1 会議費	350,000	280,000	70,000	総会等補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	20,000	20,000	0	電報
3 卒業関係費	380,000	380,000	0	人会記念品、人会金の一部を基金へ
4 通信印刷費	2,200,000	2,200,000	0	会報印刷、発送費、はがき、新聞広告
5 事務費	60,000	40,000	20,000	事務局経手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	120,000	100,000	20,000	インターネット利用料、HP利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	基金4(秋田銀行普通)への繰り入れ
9 予備費	1,017,800	97,000	920,800	
合計	6,147,800	5,117,000	1,030,800	



能代高等学校21期生(新制3期生)卒業60年日記念同期会 平成22年6月4日 於 プラザ都

65期同期会開催

世話人代表 塚本尚夫

平成22年8月14日能代市のシャトー赤坂にて65期生の同期会を6年ぶりに開催しました。

今年の初めに準備をスタートし、不手際はありましたが、仲間のご協力で開催にこぎつけました。

当日は学年主任だった高橋宏先生、荒川肇先生(A組担任)、銭谷雅昭先生(C組担任)、

年後の平成24年に内定した。(続 隆 記)

佐々木雅弘先生(F組担任)の4名の先生にもご参加頂き、約80名の仲間と久々に思い出話に花が咲きました。高校を卒業して、進学や就職先は皆違いますが、今日まで過ごしてきた話を聞くと、人それぞれの歴史があり、私にとっては刺激になりました。

時間が過ぎるのは早く、3時間の宴は大盛況のまま終了。その後2次会・3次会と行ったのは言うまでもありません。次回開催に関しては、「オリピックアップ」開催という



能代高等学校65期同期会 於 シャトー赤坂 平成22年8月14日

事になりました。夏と冬4年に2度あるので、タイミングを見て開催したいと思います。

平成22年3月卒業生 進路状況一覧

生徒数		男	女	計
		123	104	227
大 学	国公立	54	40	94
	私 大	47	38	85
短 大	国公立	1	0	1
	私 大	0	6	6
専修・各種学校		5	7	12
就 職		6	3	9
そ の 他		10	10	20

同窓会報「松陵」では、今後同期会の内容を紹介していきたいと思えます。世話人の方は同窓会事務局に情報提供をお願い致します。

平成22年度 同窓会総会 報告
85周年記念事業承認

開会前に旧料亭金勇見学

旧料亭金勇見学

同窓会総会をプラザ都で開催するようになって今年で3年目。今年は開会前に旧金勇の見学会を実施。解説を旧金勇のボランティア活動をしている大高一成氏（25期）が担当した。

参加者は少なかったが、高氏が詳しく解説。数年前に、旧所有者の金谷孝氏（17期）から説明を伺った時にはわからなかった昭和12年建築当時の木材界の様子、当時の技術



先輩の方々の著作

学校図書館内に同窓会の図書コーナーが設置されたことは昨年の「松陵」21号でお知らせしましたが、寄贈図書以外も含め「先輩の方々の著作」として展示して

の高さなどもわかった。



1階満月の間で長さ9mの
天井板の説明

天然秋田杉に囲まれた中に
一部屋だけ張物だけで作った
部屋（有明の間）があること
は当時の能代の張杵技術の素
晴らしさを証明している。

創立85周年事業承認

総会には77名³が出席。田中会長、山本校長のあいさつの後、軟式野球部長と監督から全国軟式野球大会の報告⁴が行われた。その後議事に入り、会計決算、予算、創立85周年記念事業⁵が原案通り承認されました。記念事業の内容は次の3件、

二、国道入口に設置されている校舎案内看板の改修工事

二、理数科設置記念植樹
「ニュートンのりんご
の木」の土壌改良、植
え替え、再生工事

三、同窓会用貴重品保管庫

三、同窓会用貴重品保管庫購入 予算額は百万円



懇親会は「校歌斉唱」で開始された。歌詞を見ずに4番まで歌いきる人が多数見られた

軟式野球部

全国大会優勝祝賀会開催

任期満了に伴う役員改選は
選考委員会で協議の結果、事
情により退任を申し出ていた
監査の大坂昇一氏(23期)と
副会長の工藤茂宣氏(30期)以
外は留任となりました。

同窓会役員（22～23年度）

伊勢	山田	佐々木	清水	校内幹事	高橋	小林	小松	事務	泉務	袴田	塚本	柴田	飯坂	山田	畠山	佐藤	柴田	統田	浅田	田中	佐々木	顧問
伊勢	山田	佐々木	清水	寛	敏	宏	健	子	英	子	彦	悦	行	嗣	郁	隆	美	純	満			
奈緒子	理帆子	幹	敏	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
(53期)	(49期)	(49期)	(49期)	(32期)	(33期)	(35期)	(35期)	(48期)	(47期)	(42期)	(37期)	(35期)	(32期)	(30期)	(24期)	(24期)	(21期)	(17期)	(25期)	(15期)	(23年度)	(23年度)

会費納入に御協力を！（事務局 財務担当 高橋[32期]）

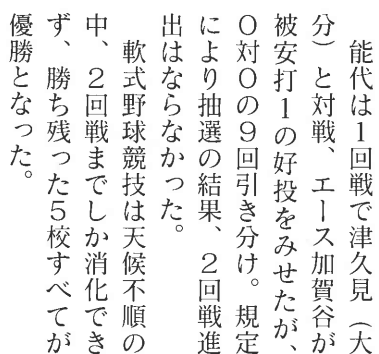
毎年、会費納入に御協力いただきありがとうございます。特に昨年度は皆様の多大な御協力により、収支状況が大幅に改善されました。事務局として大変心強く思っています。さて今回の『松陵』にも紹介しておりますが、母校85周年を記念しての事業を行うなど、支援事業も広がってきているところです。

母校はいま軟式野球の全国優勝を機に文武両面で一層の飛躍を期しています。同窓会としても母校発展を側面から支えるため、財政状況の改善をさらに強化していきたいと考えています。本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

第1期生の
卒業アルバム

このたび第1期生（旧制中学）の卒業記念アルバムの複製を入手しました。数年前に第4期生の卒業記念アルバムを入手しています。旧制中学当時、他の期でも発行されていた可能性があるので、情報がありましたら同窓会事務局にお知らせください。

時半からシャインプラザ平安閣能代で行われた。



ARDFとはどんな競技か

今年8月1日、新潟県阿賀野市で開催されたARDF（アマチュア無線方向探索）競技女子個人の部で本校3年生田代瑞葉さんが2連覇を達成した。ARDFとはいったいどんな競技なのか、無線部顧問の荒川正明先生に伺った。

少なくとも1km×2km以上の範囲の山野に、発信機を5個設置し、2時間以内に見つけゴールする競技。受信機、地図、コンパスを頼りに山野を駆け巡る、電波を使ったオリエンテーリングのようなもの。

地図にはスタートとゴール地点だけが記されている。各発信機は順番に5分おきに1分間だけ電波（モールス信号）を発信する。知力、体力、運をフルに使い、多い時は10km程も走り回ることになる。

競技は男女別、年齢別にクラス分けされている。日本の高校では文化部に属しているが、どう考えても体育会系の競技である。

ARDF競技が本校の伝統となるまで



ARDF競技を始めた頃の思い出
元顧問 秋林孝克（30期）
無線部の顧問になり部室をのぞくと無線機数台が整然と並んでいて、過去の活発な活動を感じた。しかし、残念なことに部員はいない。

平成11年、待望の新入部員（男子3名、女子2名）があり、活動の開始である。当時は「コンテスト」と呼ばれる通信競技大会と「ARDF」競技大会とがあったが、全国大会や世界大会にもつながる「ARDF」を活動の中心に決めた。それには専用の発信機と受信機を必要とするが、本校には備わっていない。他校から機器を借用しての活動が続いた。

初出場の県大会は、すべて暗中模索の状態であったが、それでも一年生の船山尚志君が入賞を果たし、初めて全国大会へ出場することができた。各種大会への出場により、平成12年には見つけたり、平成12年には船山君は県大会で2位、大館市で開催された東北大会ではジュニアの部でついに頂点を極めた。前年に続いての全国大会出場である。

女子部での復活、世界へ
前顧問 太田 研（50期）
平成14年4月から2年以上部員ゼロの状態が続き、「3年間休部で廃部」の校内規定適用が目前に迫っていた。その間、ARDFの魅力に取り憑かれた私は、自ら選手として大会に参加し、この楽しさを生徒に伝えたいと熱望するようになっていた。



平成20年9月世界大会（韓国）

平成16年6月、無線部が再復活する。新入部員は、細田早希子・青山直実・佐藤翔子・清水美貴・田中泰代・平川彩香・山崎真奈の2年女子。今からでも部活動に打ち込みたいと、勇気を持って入部した。

H21・22無線部の活躍
顧問 荒川正明（53期）
平成21年7月、全国高等学校ARDF大会優勝、同年10月、全日本ARDF競技大会準優勝。本校三年生、田代瑞葉の成績である。これにより、22年9月にクロアチアで行われる世界選手権の出場権を得た。しかし、田代は受験生であるため、出場を辞退。私のクロアチア引率の夢は断たれた。



8月1日全国高校ARDF競技大会の会場で

平成22年7月、全国高等学校ARDF大会優勝。田代は二連覇を達成した。一年生の活躍もあり、男女の区別のない学校対抗でも六位入賞と健闘した。良き先輩や、良き友であり最強のライバルでもある藤田舞との練習、そして新入部員への指導、さらには理解のある保護者の協力等々、周囲の人々に恵まれ、着実に実力をつけていった結果である。

現在、本校無線部は三年生が引退し一年生四名で10月24日の全日本大会に向けて練習に励んでいる。今年四位入賞すると、来年のアジア・オセアニア大会の出場権を得、来年の全日本大会では再来年の世界選手権に通じる。一年生は、まだ大学受験の厳しさを知らないためか、彼女らが三年生のときの世界大会がセルビアであることを告げると、口をそろえて「行きたい、行きたい」とはしゃいでいた。私のセルビア引率のためにも、念書をとっておこうと考えている（笑）。

平成二十二年 部活動大会結果

今年度も能代高校では文武両道の達成を目指して各分野で活躍しました。運動部・文化部の活動状況の概略をこの報告します。
(22年10月24日現在)

インターハイ

【体操部】

男子個人総合
221位 平塚喜航(2年)
239位 田中宏輝(1年)

【軟式野球部】

一回戦 能代〇〇津久見
(抽選結果上位進出ならず)

【軟式野球部】

全国高等学校軟式野球選手権大会
一回戦 能代2―0初芝富田林
二回戦 能代8―4羽黒
準決勝 能代1―0中京
(延長18回)

【文芸部】

決 勝 能代2―1新田
(28年ぶり2回目の優勝)

【文芸部】

全国高等学校短歌大会
予選リーグ
能代2―1酒田東
能代3―1飛騨神岡
決勝トーナメント
一回戦 能代2―1三池
二回戦 能代1―2下館第一
審査員特別賞受賞

【無線部】

全国高等学校ARDF競技大会
優勝 田代瑞葉(3年)(2連覇)
準優勝 平川百佳(1年)
全日本アマチュア無線方向探索
(ARDF) 競技大会

【陸上競技部】

3.5メガヘルツの部
優勝 佐藤初記(1年)
2位 平川百佳(1年)
5位 安田菊恵(1年)
144メガヘルツの部
優勝 平川百佳(1年)
※全日本で優勝は初。来年のアジア・オセアニア大会出場権を得る

5位 安田菊恵(1年)
6位 佐藤美紗都(1年)
学校対抗 3位 (本校過去最高)
東北大会

【陸上競技部】

女子走高跳 10位 菅原真実(3年)

【水泳部】

男子200M個人メドレー
出場 佐藤裕基(1年)
男子400M個人メドレー
出場 佐藤裕基(1年)
男子100Mバタフライ
出場 小田島和也(2年)
男子200Mバタフライ
出場 小田島和也(2年)
女子400Mメドレーリレー
出場 小田島和也(2年)
女子200Mメドレーリレー
出場 渡部 愛(3年)
女子400Mメドレーリレー
出場 渡部 愛(3年)
女子800M自由形
出場 渡部 愛(3年)
女子1000M自由形
出場 渡部 愛(3年)
女子400M自由形
出場 渡部 愛(3年)
女子800M自由形
出場 渡部 愛(3年)
女子1000M自由形
出場 渡部 愛(3年)

【柔道部】

男子90kg級
2回戦進出 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合
35位 平塚喜航(2年)
43位 田中宏輝(1年)

【空手道部】

男子個人形
出場 與齊尊偉(1年)

【男子ソフトテニス部】

1回戦 工藤秀平・信太将志(3年)組
佐藤優人・工藤 裕(3年)組

【弁論部】

ディベート甲子園東北地区予選
一回戦 能代3―0東海大山形
二回戦 能代1―2東北学院
三回戦 能代1―2大館国際情報学院
(第4位)

【陸上競技部】

女子走高跳
3位 菅原真実(3年)
【水泳部】
男子200M個人メドレー
4位 佐藤裕基(1年)
男子400M個人メドレー
6位 佐藤裕基(1年)

男子200Mバタフライ
5位 小田島和也(2年)
男子100Mバタフライ
6位 小田島和也(2年)
男子500M自由形
15位 塚本健佑(3年)
男子100M自由形
15位 塚本健佑(3年)
女子400Mメドレーリレー
8位 渡部 愛(3年)
女子400Mメドレーリレー
9位 渡部 愛(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【サッカークラブ部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

【柔道部】

男子個人総合 第3位
男子個人60kg級
ベスト16 伊勢貴司(3年)
ベスト8 安宅加純(2年)
男子個人66kg級
ベスト8 伊藤真也(3年)
男子個人81kg級
ベスト8 小川尚也(1年)
男子個人90kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)
男子個人100kg級
ベスト8 近藤優介(3年)

女子団体 予選リーグ 出場
男子団体組手 第3位
男子個人組手 3位 與齊尊偉(1年)
男子個人組手 5位 野村大智(3年)
5位 渡辺 昂(3年)
女子団体組手 第4位
女子個人組手 5位 櫻田美古都(3年)
5位 田中世奈(3年)

【卓球部】

男子団体 3回戦出場
男子ダブルス2回戦出場
見立屋駿介・飯坂祐哉(3年)組
男子シングルス
2回戦 見立屋駿介(3年)
男子団体 出場
女子ダブルス
出場 伊藤 達(3年)・渡辺悠花(2年)組
女子シングルス
4回戦出場 伊藤 達(3年)
女子ダブルス
4回戦出場 伊藤 達(3年)

【バスケットボール部】

男子バスケットボール部
ベスト16
女子バスケットボール部
ベスト8

【バレーボール部】

男子バレーボール部
1回戦 出場
女子バレーボール部
2回戦 出場

【男子ソフトテニス部】

男子ソフトテニス部
ベスト8
女子ソフトテニス部
ベスト8

【女子ソフトテニス部】

女子ソフトテニス部
ベスト8
男子ソフトテニス部
ベスト8

【男子ソフトテニス部】

男子ソフトテニス部
ベスト8
女子ソフトテニス部
ベスト8

【女子ソフトテニス部】

女子ソフトテニス部
ベスト8
男子ソフトテニス部
ベスト8

【男子ソフトテニス部】

男子ソフトテニス部
ベスト8
女子ソフトテニス部
ベスト8

男子個人戦 出場
高杉 峻(2年)・笠井湧太(2年)
【無線部】
秋田県高校ARDF春季大会
女子団体 優勝 平川百佳(1年)
女子個人 優勝 藤田 舞(3年)
2位 藤田 舞(3年)
秋田県高校ARDF大会
女子団体 優勝 田代瑞葉(3年)
女子個人 優勝 藤田 舞(3年)
2位 藤田 舞(3年)
3位 平川百佳(1年)

【写真部】

秋田県高等学校写真連盟展
入選 田村真実(3年)

【放送部】

秋田県高等学校放送コンテスト
優秀賞 創作ラジオドラマ部門
【書道部】
全県席書大会
一等 高橋佳穂(2年)
二等 安部友恵(2年)・中嶋利奈(2年)・小林今雨子(2年)
大塚将太(2年)・佐々木華子(1年)・高橋未来(1年)
福司弥生(2年)・金澤夏海(2年)・今井 恵(1年)・近藤奈々瀬(1年)・山崎 睦(1年)

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴

【吹奏楽部】

秋田県大会 銀賞
【野球東北・全県大会】
【軟式野球部】
春季全県大会
準決勝 能代7―0秋田工業
(7回コールド)
決勝 能代0―5秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
代表決定戦 選手権大会秋田大会
(7回コールド)
全国高等学校軟式野球選手権大会
1回戦 能代4―0一関第一
決勝 能代13―1弘前工業
【硬式野球部】
春季県大会
2回戦 能代0―1横手
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 能代14―0雄勝
2回戦 能代1―8横手
秋季全県大会
2回戦 能代7―0大曲農業
3回戦 能代3―10大館鳳鳴



四度の校歌斉唱・大感激！
「そのかみはるか域闊く」

近畿同窓会 世話役

平川 長
(二十九期)

今年の全国高等学校軟式野球選手権大会での母校の優勝は近畿に住む同窓生として誠に喜ばしく、野球部の皆さんに有難うと言いたい。そして応援団・ご父兄の皆様にも。

開幕の前に秋田県人会による激励会があり「明石球場には二十八年前の優勝の記念植樹がある。今年はもう一本増やして欲しい」とプレッシャーになる事を言ったが、現実のものとなり驚いている。

同窓会近畿支部の仲間も各々用事があり毎日出勤とはならなかったが、スタンドは連日大いに盛り上がり、その場から携帯で速報を報告しながら、次の日の参加者を集めるなど、日を追うごとに応援も大いに加熱した夏でした。それにしても、厳しい試合の連続で、野球部は勿論、応



横断幕は一口千円×34名の寄付金で作成しました。次の出番を待っています。

援団やご父兄の方々もハラハラの毎日であったと思う。特に準決勝のサスペンデッドゲーム、決勝でも毎回、出塁を許しながらも抑えきった投手の頑張り、最後の爽快な逆転劇には、ただ敬服するばかり。勝利の興奮の中でスタンドで歌った校歌の余韻と、炎天下でウエルダン（黒こげ）状態になった同窓の面々の顔が今年の猛暑の嬉しい置き土産となった。

「横断幕に思いを込めて」
国体応援記

東京同窓会

三浦 洋
(四十五期)

この夏の軟式野球部の活躍は東京同窓会の会員間でも連日「ブログ」を通じて話題に

なり、大いに盛り上がりました。中には明石まで足を運んだ方もいた次第です。

全国制覇の余韻を引きずりながら、9月26日千葉県国体の試合の応援に東京同窓会有志15名が急遽横断幕を用意して駆けつけました。

「奮へ松陵健児」と書かれた校章入りの縦一・二米、横三・六米の真新しい横断幕をスタンドに掲げて応援に臨みましたが、試合中も続々と同窓生が駆けつけ、「よお、久しぶり」と、あちこちで再会の声も聞かれました。試合は抽選負けの残念な結果に終わりましたが、応援に駆け付けた誰しもが母校を応援する機会に立ち会えたことを誇りに思っていることでしょう。球場を出ると同窓生の数は三十名以上に膨れ上がっており、全員で校歌を合唱し、選手達にエールを送って解散しました。(詳細は東京同窓会ブログを見てください)

編集後記

今回は記事のほとんどをEメールで入手できたので、入力の苦勞をせずに作成出来ました。ありがとうございました。(事務局広報担当 小林33期)

秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧

同窓会本部のEメールアドレス
noshirohs-dousou@shirakami.or.jp

2010/10/15現在

	名 前	郵便番号	所在地(会長宅または事務局)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期
本部	能代高校同窓会	016-0184	秋田県能代市高城2-1 秋田県立能代高等学校内 http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	田 中 仁 純	25
	東京同窓会	143-0015	東京都大田区大森西2-15-21 大森太田印刷(有)内 http://shoryokenji.web.fc2.com	能高東京同窓会事務局	03-3765-1779 fax03-3766-1228	太 田 勝 治	29
	秋 田 支 部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 農協ビル6階 柴田・加賀法律事務所内	同窓会秋田支部 加賀 勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加 賀 勝 己	30
	県庁能高会	010-8570	秋田市山王4丁目1-1 秋田県庁 秋田県医師確保対策室	県庁能高会事務局 佐藤 徹	018-860-1410 fax018-860-3883	森 田 新一郎	40
支	北海道支部	064-0804	札幌市中央区南4条西6丁目11-2 全日ビル7F (株)雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉	011-272-3540 fax011-272-3550	菊 地 晃 二	27
	近 畿 同 窓 会	655-0002	兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長	078-794-0998 fax 電話と同じ	平 川 長	29
	青 森 支 部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田 和夫	017-742-5061 fax017-744-6150	原 田 和 夫	26
	大 館 支 部	017-0844	秋田県大館市字新町10	西村 銀三	0186-42-0221 fax 電話と同じ	西 村 銀 三	14
部	八 竜 支 部	018-2401	秋田県山本郡三種町鶴川字昼寝下67-1	岩谷 隆	0185-85-2335 fax0185-85-2104	岩 谷 隆	31
	鷹巣阿仁支部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中 三夫	0186-62-2731 fax0186-62-2757	まもなく決定	
	二ツ井支部	018-3119	能代市二ツ井町薄井58	事務局 秋林 俊明	0185-73-2644	豊 澤 幸 夫	20
	藤里町松陵会	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田 洋三	0185-79-1801	石 田 洋 三	27
	松陵津軽会	038-2202	青森県西津軽郡深浦町岩崎字玉坂10-3	七戸 仁	0173-77-2012	七 戸 仁	47

(琴丘支部と八森支部からは連絡がありませんでした)